

## 家族会と地域連携



NPO法人 全国ギャンブル依存症家族の会  
田所 幸子

## ギャンブル依存症主な全国組織団体

	GA ギアマノン	公益社団法人 ギャンブル依存症 問題を考える会	NPO法人 全国ギャンブル 依存症家族の会
主な活動	・回復プログラム ・フェローシップ	・啓発活動 ・ロビー活動 ・予防教育 ・連携作り ・相談業務	・ピアサポート ・情報提供 ・ギアマノンの受け皿 ・ギアマノンの橋渡し ・地域の拠点作り
メンバー	GA - 当事者 ギアマノン - 家族	当事者 / 家族	家族
匿名/実名	匿名	実名	実名
意見表明	外部に意見を 発しない	当事者/家族の意見を 表明	家族の意見を表明

↑  
今日のお話はココです！！

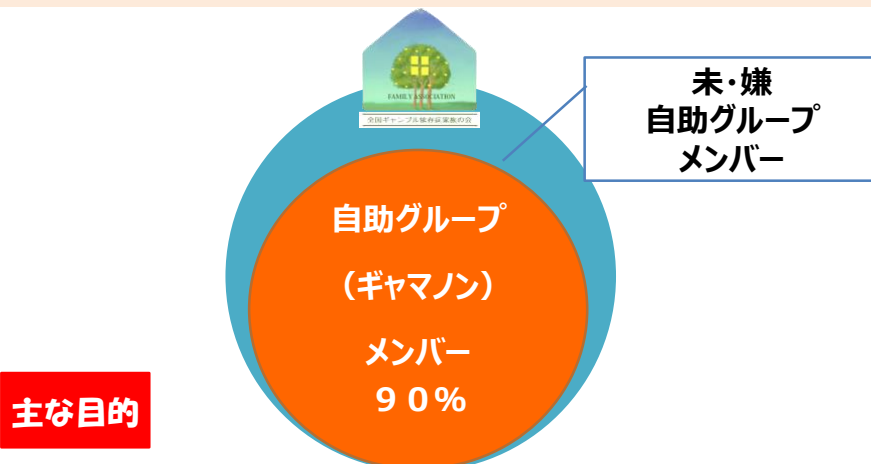
## 立ち上げの経緯

	主な相互支援機関	政治的活動／地域行政へ働きかけを行う機関
アルコール	AA アラノン 家族の回復Step12 (公社) 全日本断酒連盟	(公社) 全日本断酒連盟 (NPO) アスク
薬物	NA ナラノン 全国ダルク	全国ダルク (NPO) 全国薬物依存症家族会連合会 関西薬物依存症家族の会
ギャンブル	GA ギアマノン	(公社) ギャンブル依存症問題を考える会 (NPO) 全国ギャンブル依存症家族の会

カジノ議論→基本法策定への流れが起こり  
アノニマスグループ以外の活動団体が  
必要になりました。

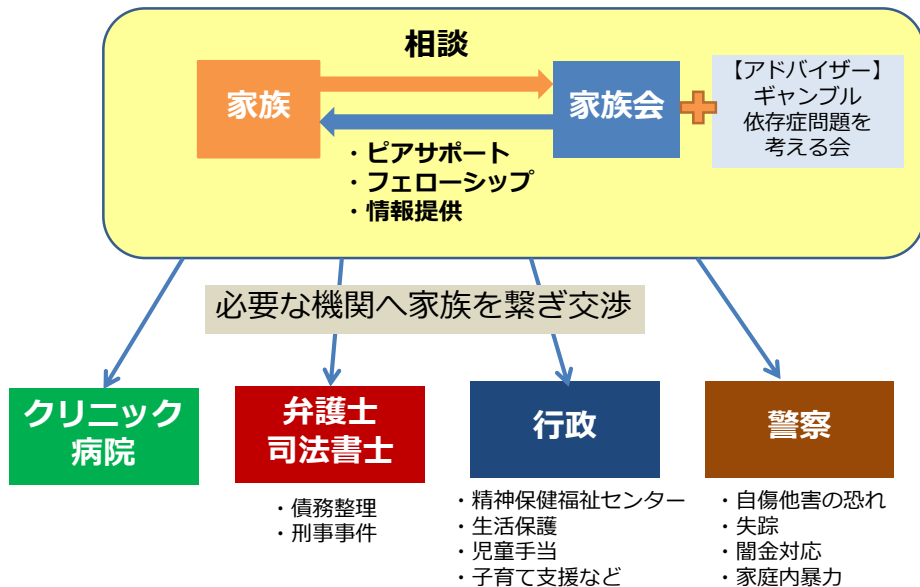
ギャンブルにはこの機関がなかった！

## 家族会と自助グループ

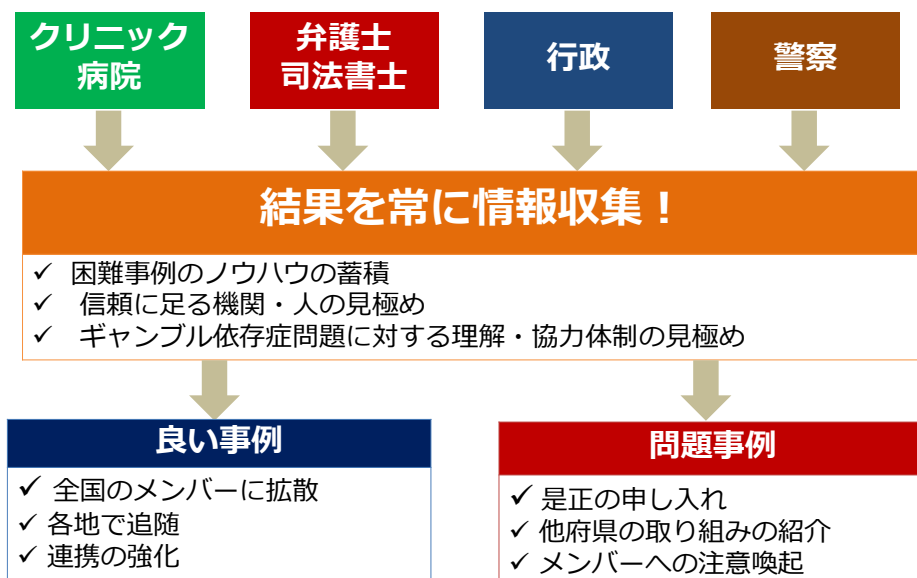


- ◆ 家族の困りごとを共に解決していく
- ◆ 自助グループに繋がれない人の受け皿となる
- ◆ 本人介入へ向けサポートする

## 家族会と地域連携 その1



## 家族会と地域連携 その2



# 参考事例



## 事例

相談者：母親（父親は他界）70代  
ギャンブラー（無職）40代

### 1) ギャンブラーによる言葉の脅しで度々警察に相談

- ・「借りた相手は暴力団がからんでる」「このままでは殺される」
- ・およそ10年間。700万円以上の尻拭い。
- ・アルコール依存症も併存

### 2) 警察が持て余し、区の保健福祉センターを紹介される

(東京都保健政策部 保健政策課 地域保健担当 管轄)

### 3) 保健福祉センターが開催する依存症家族会に参加

- ・ 依存症という病気の概念を知ることができた
- ・ 「困ったら警察に相談しろ」とのアドバイスで堂々巡りが2年間続く
- ・ 本人へのアプローチをしてもらえず家族任せ
- ・ 月に1度の相談で、問題が起きた時にすぐに相談できない
- ・ 電話が繋がっても「警察に相談して」の一点張り
- ・ 尻拭いもやめられず、ホテルに一時避難
- ・ センターから「ギャンブル依存症問題を考える会」を紹介

#### 4) ギャンブル依存症問題を考える会のアプローチ

- ・ギャンブラーに介入。「入院 or 回復施設 or 一人で自活」
- ・ギャンブラーが入院と回復施設を拒否。一人でやっていくことを選択
- ・母親を**全国ギャンブル依存症家族の会**へと繋ぐ

#### 5) 家族の会から母親へのアドバイス

- ・長期戦を見込んで、娘の家に避難
- ・ギャンブラーに光熱費等自分で支払うよう促し母親は契約解除

#### 6) 無賃乗車や無銭飲食を繰り返す

- ・夜中に警察から母親に連絡。自宅前にパトカーで来る。
- ・母親が駆けつけると「示談で済むから母親が支払え」と3時間も粘られる

#### 7) 警察へ苦情申し立て／交渉

- ・ギャンブル依存症問題を考える会に再び連絡。共に警察に苦情申し立て
- ・無銭飲食、無賃乗車家族に支払い義務はない。逮捕拘留して欲しい

#### 8) 再びタクシー無賃乗車

- ・警察が家族の方針に協力。18日間の勾留
- ・タクシー会社、弁護士、警察、回復施設の関係者が一丸となって説得
- ・ギャンブラーが回復施設へ繋がり、母親が被害額を弁償し不起訴

#### 9) およそ1年後回復施設を飛び出しアルコールで再発

- ・ギャンブラーが自宅を訪ねてくるも、母親は家に入れず警察に通報
- ・警察が「お母さんは出てこなくてよい」と言い、玄関前で本人を1時間半に渡って説得。
- ・回復施設と警察が連携をとり、ギャンブラーは施設へ戻る
- ・現在、順調に回復中

#### 10) 保健福祉センターへフィードバック

- ・母親が自分の経緯と家族会の活動等をフィードバック
- ・メッセージ活動などで連携

## ✚ 家族会が考える課題

- ✓ 公的機関のどこがどんな相談支援を行っているのかわからない
- ✓ 公的機関に相談しても一緒に動いてもらえない  
相談のたらいまわし状態で、本人へのアプローチ体制が整わない
- ✓ 援助希求行動がとれる人が公的機関へ  
ギャンブラーが否認している困難事例は民間団体へ
- ✓ 民間団体への公的支援や連携体制が全くない
- ✓ 医療は保険点数化など国の体制が整うが、民間団体はおきざり

ギャンブル依存症問題を家族だけに背負わされている  
家族は公的機関や医療に絶望し  
助けを求めることをあきらめている

ご清聴ありがとうございました

